

第111回 世界の人とふれあいタイム

アイルランドの話
キース ケリー(Keith Kelly)氏
日時:2024年4月21日(日)
(14:00~16:00)

会場: 八王子市学園都市センター第5セミナー室
『(フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

ゲストのキース氏は2019年に来日され現在は、奥さんと八王子に在住です。



国によって文化はさまざまですが、アイルランドの文化とは、詩、歌、スポーツなどです。例えばブラインドボーイ氏は、本も書いたり、歌ったりする詩人です。彼は、キース氏の故郷であるアイルランドのリムリック市

の出身で、同じ高校に通っていました。

イニシュキーン・ロードー7月のタバーという詩は、1930年代後半頃、パトリック・カバナーという詩人によって書かれた物です。この詩にはまったく異なる2つの段落に分かれています。1つ目は活気があり陽気です。



す。例えば、

人々のグループがパーティーに行く時は読んでいてワクワクします。2番目の段落はまったく逆で詩人は孤立しています。彼はそれを、アレクサンダー・セルカークのように無人島に取り残されたことに例えています。この詩はアイルランドの小学生も勉強しています。

この作品以外にも、キース氏の4年前の夏の浅川で書いた、ハーリングスポーツ(ステックとボール使用して行う、屋外スポーツホッケ)について、トンボが比喩になった詩の紹介もありました。



次の写真はキース氏の姪で、2024年4月にキック

ボクシングの世界タイトル戦でチャンピオンになった時の場面です。彼女が小学校の教員をする傍ら、日々夢に向かって頑張った結果の表彰式です。



アコーディオン演奏者は、トム・マクナマラ、あるいはトミーおじさんとして知ら



れています。キース氏の叔父である彼は、リムリックでは有名な大道芸人です。2023年にアイルランドに戻っていたとき、12月に偶然彼に会いました。

彼は86歳ですが、リムリックの人々を幸せにするために、アコーディオンを演奏し頻繁に外出している、とのこと。

モイロス地区出身のクランベリーは、近年最も有名なアイルランドのバンドの一つで、ケリー氏の同郷者です。彼らの最も有名な曲の一つは、ゾンビという曲です。再生回数が10億回を超えました。昨年のラグビーワールドカップでアイルランドが南アフリカを破ったとき、パルク・ド・フランススタジアムで、サポーター達がこの曲を歌っているのを、皆さんは聞いたことがあるかもしれません。



Rogue Writes Keith Kelly on Youtube
Please follow my Youtube channel and my Instagram account

も
の



奏して頂きました。

YouTubeで有名な、自作のThe Mad Lady and Me歌を最後に演

他にも、多数のPoetryを紹介して頂きました。



(世界の人とふれあいタイム委員長 生山 龍哉)

次回: 7月28日(日)はベネズエラの話です。